

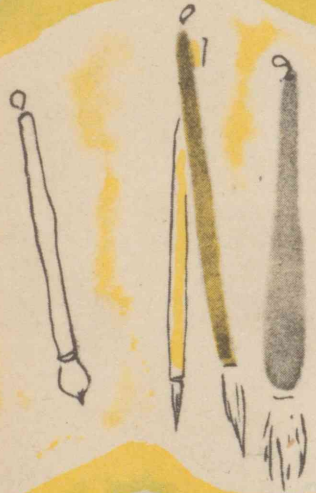
23
修文 小国 629

文部省検定済教科書

方書の字

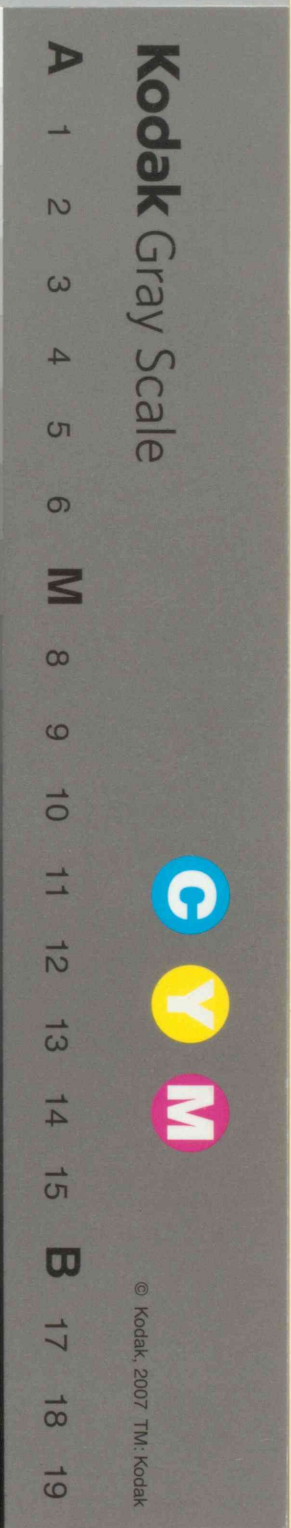
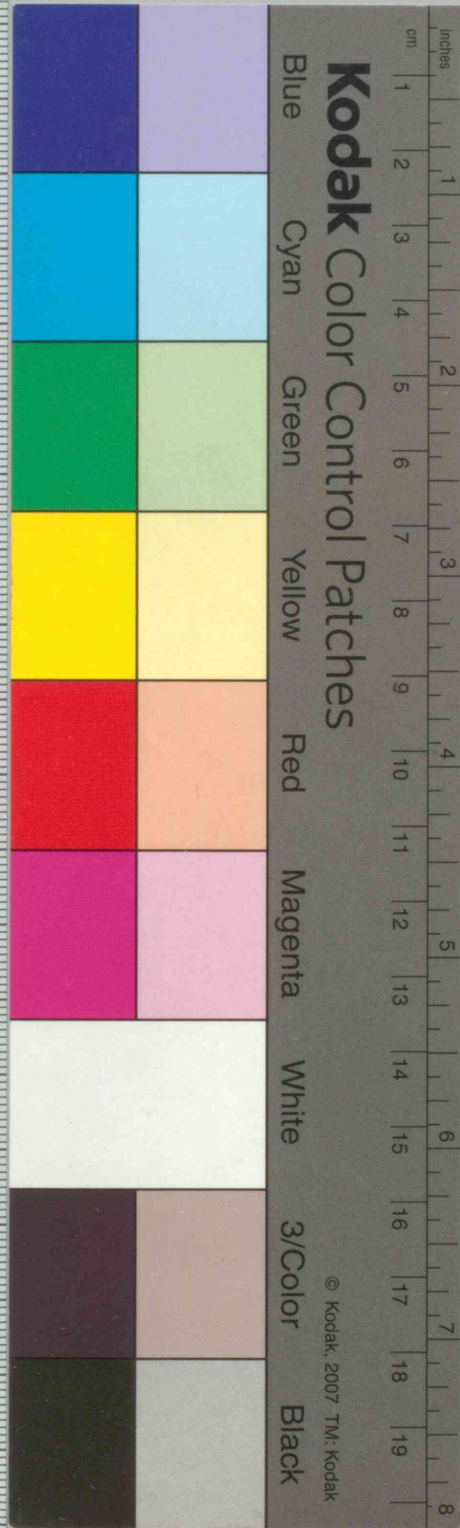
教科書文庫
6
720
34-1950
0130449857

東京芸術大学 石橋啓十郎監修
奈良女子高等 長岡文雄著
師範学校



第6巻

東京修文館



60288
教科書文庫
6
720
34-1950
01304
49857



教科書文庫

6

720

34-1950

0130449857

昭和25年8月12日
文部省検定済
小学校国語科硬筆書方

字の書方

東京芸術大学 石橋啓十郎監修

奈良女子高等
師範学校 長岡文雄著



広島大学図書

0130449857



上

六年

東京修文館

中央図書館

六年生のみなさんへ

- 一、正しい漢字のくずしかた、かなのつづけかたを研究して、早く美しく書けるようになりましょう。
- 二、白紙に調和よく書けるようになりましょう。
- 三、生活に必要ないろいろの場合の書きかたが、じょうずにできるとよいになりましょう。
- 四、ペンをじょうずにつかえるようになりましょう。

広島大学図書

0130449857



ペンのよいもちかた。



ペンは、えんぴつのように強くおさえないで書けますから、かるく持つてすらすら書きなさい。
ペン先のむきに気をつけて書きなさい。
ペンと紙の角度はえんぴつのとときと同じくらいです。
上の図をよくごらんください。つぎの点はどんなになっていますか。ゆびのかけかた、持つ高さ、ペンの角度、ペン先のむき、左の手。

春は希望の帰ってくる時、
新しい勇気や空想をもって。

春は、また、

楽しい船出のほぬのを、

高くかかげる季節。



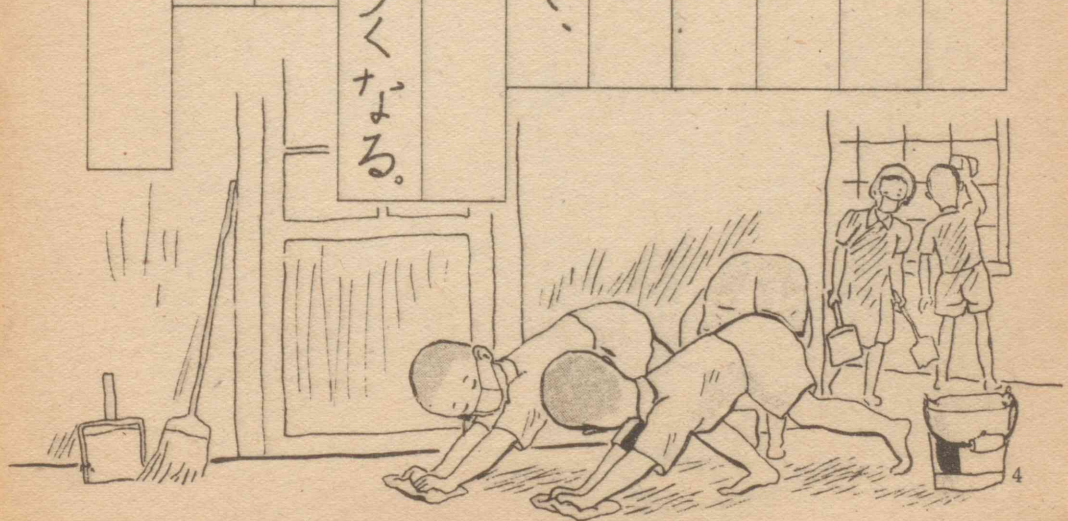
いよいよ六年生になった。

小学校の最上級生だ。

学校自治活動の役員になって、

みんなのお世話をすることも多くなる。

私たちの責任は実に大きい。



下級生をいたわり、心をあわせて、

力いっぱい働こう。

そして、ますます楽しいよい学校をつくらう。

来年は中学校へ進まねばならない。

この一年こそ、小学校生活の最も思い出となる

ような、大きな仕事をしよう。

学校自治活動の新しい組織ができた。
六年生の者がたくさん役員になった。
私は、学校自治会の記録係になった。
記録係は、私のほかに春山さんもいる。

議長に選挙された上田くんが、
「記録係はだれがいいでしょう。」
というとき、中村くんが立って、

「川口くんがいいと思います。川口くんは、字がきれ
いだし、それに書くのが早く、また、話を聞いて
まとめて書くこともじょうずです。」
と、すいせんした。みんなが賛成した。

左の記録を写しなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

四月二十五日(水) 午後三時から四時半まで

一、五月行事の計画

1. 五月三日は憲法記念日で祝日。六年生が憲法のことを研究しているので五月二日に発表をする。
 2. 五月五日は子どもの日でまた祝日。午前中学校へでて子ども会や、リレー会をする。
子ども会には学級から一つずつなにかやる、時間は一学級七分ぐらいまで。プログラムは学芸係でつくる。
リレー会は子ども会の後でやる。各学級A・B・C・Dの四チームをきめること一チーム男女各五名。
 3. 遠足をする。五月十七日ごろ、行先は学年ごとにきめる。
- 二、注意すること、後始末をよくするよう。

白紙に詩や文を書くことは、ほんとうにむずかしい。
全体のつりあいがなかなかじょうずにとれない。
先生が白紙に書くときには、つぎのことに注意をして
書くと、じょうずに書けるとおっしゃった。

1. 上下、左右に余白を残して書く。
2. 行がまがらないように書く。
3. 各行の頭をそろえたり、終りをてきとうに切って書く。
4. 各行の間が同じになるように書く。
5. 各行の間は、白く見えるようにあけて書く。
6. 字の大きさを書きぶりが、はじめと終りとで変ら
ないように書く。

「文字がもっと早く書けたらいいなあ。」
と思う。

正しく美しく書けても、そのうえに早く書けないと、生活にはこまることが多い。

この間、工場の見学にいった時など特にそう思った。工場のおじさんが少し早口であったせいもあるが、大切なことを聞きとって書いていくのに、手が動かないでいらだたしい気になった。

大抵な人たちが書いておられるように、少しづづけて書いたら早く書けるように思う。

先生につづけて書く方法をお習いしよう。

先生のお話

つづけやすい二字か、三字ぐらいのひらかなを、
つづけて書くと、とても早く書けますし、
しかもそれが美しく見えます。

日常の生活によく使っている、つぎのようななどは
の、つづけかたを練習すると、役に立ちます。

いる。ます。あした。ません。です。でしょう。
ある。あり。なる。なり。たり。よう。よく。
ように。して。らく。うら。ので。から。
もの。こと。また。もし。これ。それ。きん。

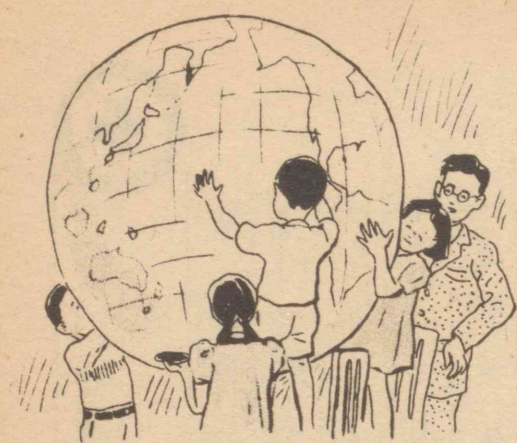
漢字も、少しくずして書くと、早く書けます。
気分も、やわらかく、楽になり、かなとよく
調和します。

でも、くずす時、正しいくずしかたを、なにと、かえ
って、時間がかかり、外の人にも読めません。
少しくずした字を行書(ぎょうしよ)といえます。

つぎに、漢字の主な「へん」を行書で書いて
みます。今までのかい書の書きかたとどう
ちがうか、よくしらべてけいこしてごらん。

行書 才 禾 才 禾 才 禾 才 禾 言 言 言 言
かい書 木 禾 才 禾 禾 禾 禾 禾 言 言 言 言

村私持特祝級詩海地



今、世界の国々の国境と国名とを記入している。それぞ
れの国の国旗もしらべている。この世界の
国々がなかよく助けあつてさえいけば、戦
争は地球上から消え、人類は幸福になるのだ。

私たちは、直経一・五メートルもの大きな地球ぎを作っ
て、地球のとや、世界の国々のようすをしらべている。
球は竹であんで、その上を紙できれいにした。
球ができると、経線とい線の学習をして、これを書きこ
んだ。これが地図の作りかたもよくわかった。



空は世界へ

空は世界へつづいてる

空は世界をだっている

みんなごらんよあの空を

空がぼくらのわたしの

心よ心よ 子ども赤十字

花はだれにもおっている

花はやさしくにおっている

みんなごらんよあの花を

花がぼくらのわたしの

すがたよすがたよ

子ども赤十字

上の詩を写しなさい。

星はどこでも光っている

星はなかよく光っている

みんなごらんよあのを星を

星がぼくらのわたしの

ほろよほろよ

子ども赤十字

旗は十字の愛の旗

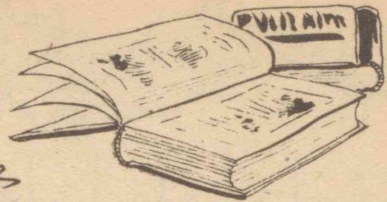
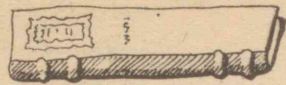
旗はかがやく愛の旗

みんなごらんよあの旗を

旗がぼくらのわたしの

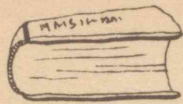
しるしよしるしよ

子ども赤十字



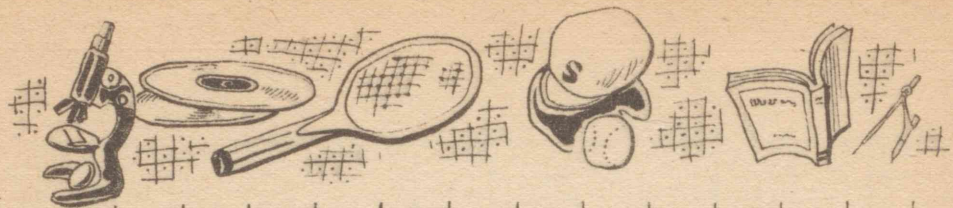
学校での勉強のようすや、運動のことや、町のことや、服そのもの、ことなどが、絵や、工作や、絵はかきなどをとり入れて、くわしく説明されている。見ていると、アメリカのお友だちの所へ旅行してゐるような気がしてくる。

説明文は、きれいなペン字だ。もちろん英語で書かれているが、赤十字で日本語に訳してくださっているからよくわかる。

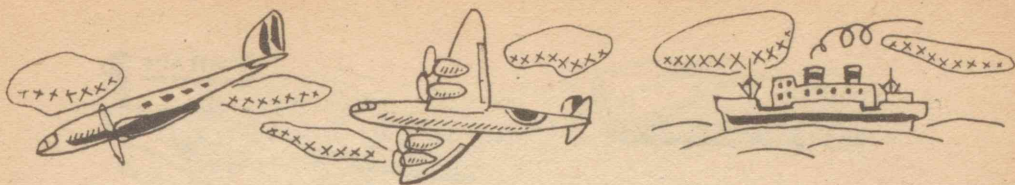


私たちの学級では、みんなが相談の結果、青少年赤十字団に加わった。世界の七十か国に近い国々のお友だちと手をにぎり、身体を健康にして、博愛と奉仕の精神をもって、世の中のためにつくすことをちかづける。

きょうは、アメリカの青少年赤十字のお友だちから国際通信のアルバムがとどいた。みんな大喜びだ。



左の手紙を写しなさい。



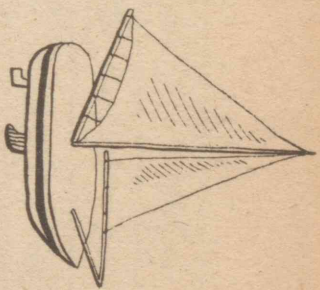
アメリカのお友だちのみなさんへ
このあいだは、お心のこもったりっぴなアルバムを送って
くださってありがとうございます。

みなさんの学校や町のようすや、勉強ぶりや、遊びの
ようすが手にとるようによくわかりました。

私たちには、アメリカとソウ国は、太平洋の向こうの遠い
所だという気ばかりしていましたのに、みなさんからアル
バムをもらったとき、さらにきょうは、私たちがいらした
お礼のアルバムをお送りすることになりました。まったく
おとなりの村か町かのように近い気持ちになりました。
世界は広いようで、実はせまいものだと思えます。

私たちのアルバムは、みなさんの質問なすていらっしやった
ことや今学習していることをごしょうかします。

ほかけ船を作った。



1. 板をけず、て船体を作る。
水のじゃまするかが、てできるだけ少いように船の形をいろ
いろ実験しながら考えた。
紙をニツに折って、船の上面の形を切りぬいた。これを板
の上にはりつけ、船体の両側を同じようにけずった。

2. かじとほをとりにける。

ほの重さの中心と、船の重さの中心とが、ほほ同じ
えんちよく線の上にあるようにしなけば、ほ柱を立て
た時、船が前後にかたむくので、ほの重心と、船体
の重心とをていぬいにしらべた。

3. 池の上にかけて風を送ると、すべるように走った。

汽船には大ききや使ひみちによつて、いろいろの機関がとりつけてありますが、大型の汽船には、じょうきタービンや、ジーゼル機関が多く使われます。

じょうき機関は燃料のむだが多いこと、しんどうがはげしく乗り心地が悪いこと、大きき力を出すものが作りにくいことなどのため、だんだん使われなくなつていきます。

ジーゼル機関は大型にして、大きな馬力を出すことができて、燃料としてねだんが安く、取りあつかひも安全な軽油や重油が使えますから、広く使われています。

しかし、ジーゼル機関は、空気を強くおしちぢめるために、機関をじょうぶに作らなければいけませんし、重油を圧力の大ききシリンダ内に入しきこむしかけが必要になります。

ひつじゆんのむずかしい字をけいこしましよう。

旗	境	移	陸	球	経	賛	録	織	節	想
ニ川三六	培ん	移夕	陸土	球一ニ	経フハ	賛ニ目ハ	録フニ一ニ	織緋ハ	節竹ヨコ	想相心

服	際	昨	奉	康	健	果	争	戦	幸	類
服コ	際夕ニ小	昨日一ニ	奉三人ニ	康六ノ六	健仁三ノ	果旦一ハ	争クノ	戦ツクハ	幸土三ノ	類ノ類

要	必	照	初	陽	軽	燃	験	質	訳	説
要ニ立ノ	必ノハ	照照点	初フコソ	陽旦一ク	軽フハ	燃タ火	験人言	質所目ハ	訳言人	説言ハ

在	謝	修	留	停	速	像	常	非	歴	便
在ハ土	謝訃行	修修シ	留留田	停信丁	速速ハ	像像ハ	常常ハ	非一ニ	歴ハ林	便便ハ

教師や父兄のかたへ

一、六年生の書き方指導のめあて

- 紙面の空間、文字の大小、繁簡、を考え、布置を工夫して、調和よく書けるようになる。
 - 正しい漢字の行書と、かなの能率的で美的なつづけ方を会得させ、早く、美しく書けるようにする。
 - 日常生活に必要な、いろいろの場合の書き方が、じょうずに使用できるようにする。
 - ペンをじょうずに使用できるようにする。
- 二、六年生上、下の編集について
- 五年生までの編集の発展として、前学年までと同様、主人公をおき、その生活経験を中心として、すじの通った単元的なものにし、児童が、生活的に興味をもって自主的に学習するようにした。
 - この学年児童の心身発達段階に即し、社会的要求を満足できるような内容をとりあげた。
 - 書き方の教科書であるから、ことばや、文字は平易であるようにした。
 - 速書の立場から、簡単な漢字のくずしかた
- と、かなのつづけかたをとりあげ、調和体の教材を豊富にした。
 - 用紙は縦けい(びんせんも含む)と、白紙と、原稿用紙にし、特に白紙と縦けいを多くして、紙面の生かしかたに工夫させるようにした。
 - 日常のいろいろの書式にできるだけふれるようにした。手紙、日記、記録や、横書きをとりあげた。また、どうしやずりのことにも簡単にふれた。
 - 配列は単元的にし、生活とむすび、変化を重んじ、しかも書写力発展の系統に即するようにした。
 - 練習のらんを多くし、練習方法には変化を重んじた。また進歩を確認評価できやすいようにもした。
 - さし絵をできるだけ入れるようにした。
 - ペンの執筆図を入れ、ペンの使用に正しくなれさせるようにした。
 - 巻末に一部のむずかしい文字について筆順表をかかげて、正しい筆順で文字を書くようにすすめた。

(表紙 山田史郎)



東京修文館
共同印刷株式会社
代表者 大橋芳雄

名前

Approved by Ministry of Education
(Date Oct. 3, 1950)

昭和25年10月3日印刷
昭和25年10月7日發行
著者 長岡文雄
東京都千代田區神田神保町1の25
株式會社 東京修文館
發行者 代表者 鈴木金之助
東京都文京區久堅町108
共同印刷株式會社
印刷者 代表者 大橋芳雄
東京都千代田區神田神保町1の25
株式會社 東京修文館
發行所 株式會社 東京修文館
小国 629 字の書方 定價金拾圓五拾錢
六年上

広島大学図書
0130449857
0130449857